

スマホを楽しみましょう！ 長持ちさせるための充電方法や写真撮影のコツをご紹介します。

みなさまに暮らしと住まいを快適にするためのちょっとした役立つ情報をお届けいたします。今回のテーマは「スマホの活用」です。

どんどん進化するスマホ。ここでは、充電の新常識とカメラの使い方のコツについてご紹介します。

バッテリーにダメージを与えないように充電しよう

●充電の容量は20〜80%がおすすめ！

リチウムイオン電池の場合、20%を切るくらいで充電し、80%程度で充電を終えると、バッテリーに負荷がかからないそうです。今の端末ではバッテリーに負荷がかかる過充電を防止する機能が増えており、安心になってきてはいますが、充電が無くなるギリギリまで使うことや充電切れを起こすことはバッテリーの劣化が進む可能性があります。

●高温・低温下の充電はさける

リチウムイオン電池は熱に敏感で、約45℃以上になると劣化が始まり、寿命にも影響が出ます。また約5℃を



下回る寒い環境下もバッテリーに悪い影響を及ぼします。



バッテリーのダメージに気を付けて、スマホを長持ちさせたいものですね。

構図や角度の工夫で 素敵な写真を撮影しよう

●テーブルにあるモノを撮る

テーブル上のモノを撮る際、被写体に照明の光や自分の影が映り込むときは、構えた位置からさらに上にスマホを移動し、いろんな角度で被写体をスマホの画面上で確認してみてください。照明の光も影も映らないポイントが見つかったら、そこから画面上



お皿を全部写さず、わざと切って撮るのもおしゃれですよ

でアップにすると、きれいに撮影できます。また、モノの下に、畳んだティッシュや薄い冊子などを置いて角度をつけるのもありです。

食べ物を撮る際は、その構図によって印象が変わります。食べ物を構図の真ん中に置くと、その魅力がストレートに伝わりますし、左右にずらして構図に余白を残すと、ちょっとおしゃれな雰囲気を出すことができます。

頭の体操

間違いさがしゲーム

上下のイラストで違うところが5箇所あります。さあ！チャレンジしてみてくださいね！



答えは裏面をみてね！

●子どもやペットは連写で撮影！

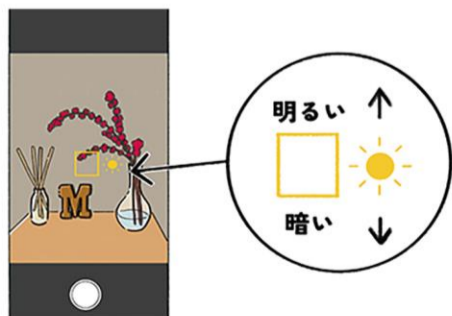
子どもやペットは自由に動くので、撮影にひと苦労ですね。そこで、連写モードなら1度に何枚も撮れるので、お気に入りの瞬間を収めることができるかもしれません。あとは、お気に入りの写真を選んで保存すればOKです。一般的には、シャッターボタンを押し続けると連写できますが、最近の機種は操作が異なったり、事前に設定が必要な場合があるので、携帯ショップなどでお問い合わせを。

●人物をバランス良く撮影する

記念撮影をするとき、体のバランスが微妙...という時は、少し下から撮ると足が長く見え、スタイル良く撮れます。スマホを逆さまにするとレンズが下になりますし、少ししゃがんで撮るのをおすすめです。

●写真加工にはどんなものがある？

たくさん表示があり、迷いますね。



<iPhone の例>撮影時に画面上で明るさ調整する場合、明るくしたい部分をタップ。明るさ調整のガイドが表示されたら、指で画面を上方向になぞると明るく、下方向になぞると暗くなります。機種によって方法が異なりますのでご確認を。

たとえば「色温度」は写真の雰囲気調整できます。オレンジっぽい色彩だと温かみが増し、青っぽい色彩だとクールな印象に。「明るさ」と「彩度」は文字通り、明るさと鮮やかさを調整するもの。自分好みに調整してみてください。操作の仕方は機種によって異なるので、携帯ショップで問い合わせしてみてください。